
3. 工事中調査の結果報告（速報）

※前回の第8回検討会では、平成29年5月までの工事中調査結果を報告した。

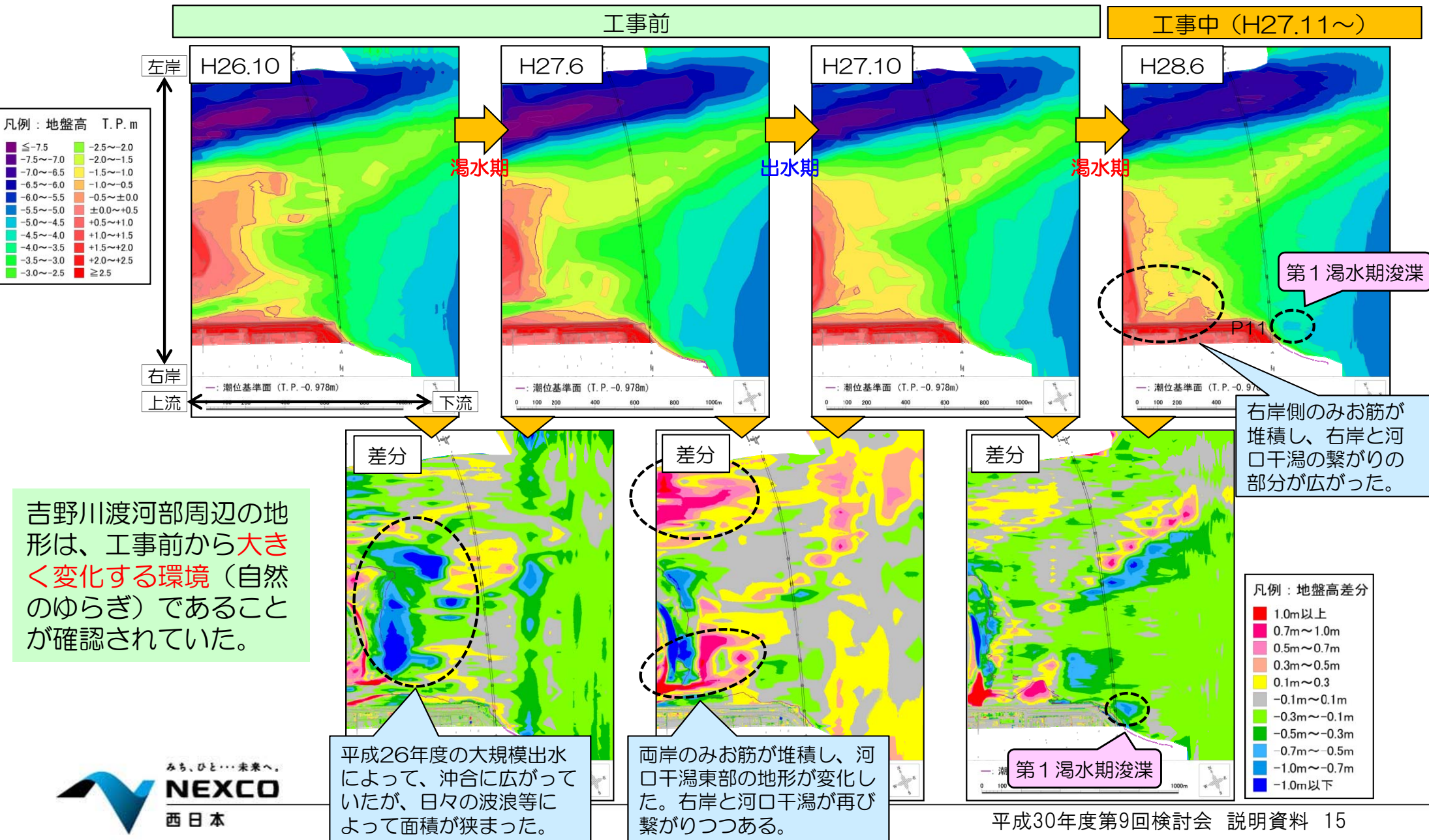
※今回は速報のため、平成29年6月と10月の地形調査と潮下帯生物調査のみを報告する。

※次回の平成30年8月頃に開催する検討会にて、平成29年6月～平成30年5月の調査結果を報告する。

3-1 地形調査(速報)① ~工事前の地形変化~



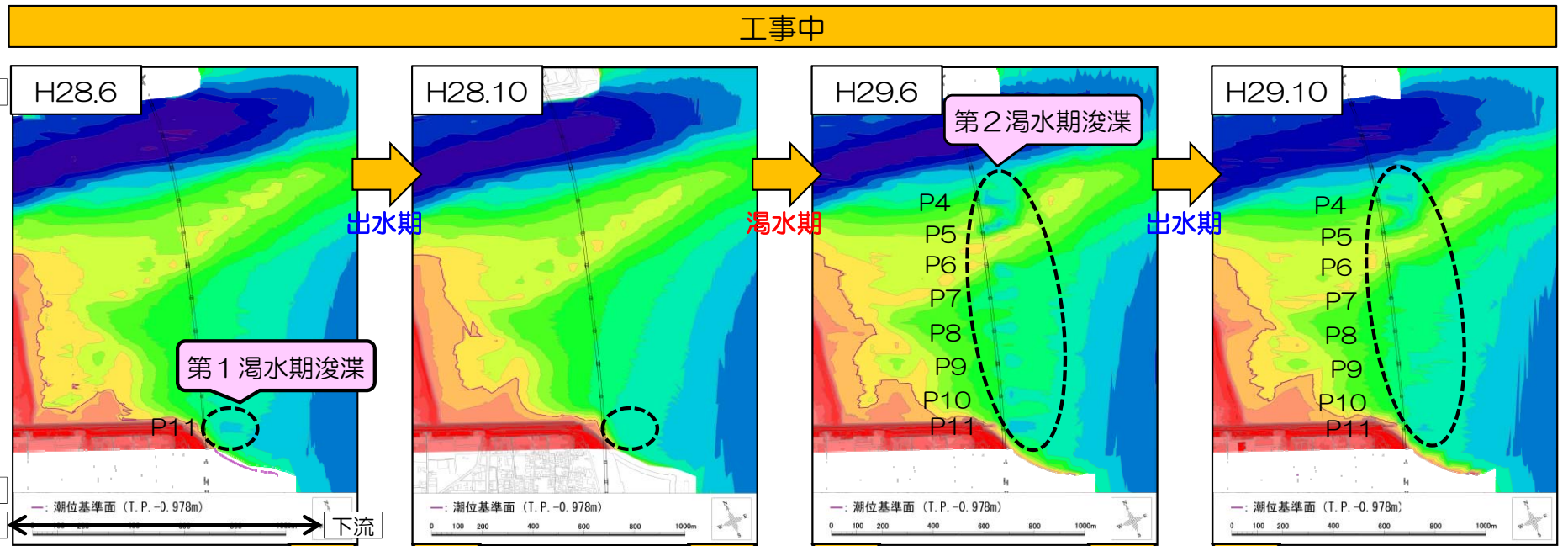
地形調査で把握した吉野川渡河部周辺の地形変化を以下に示す。



3-2 地形調査(速報)② ~工事中の地形変化~

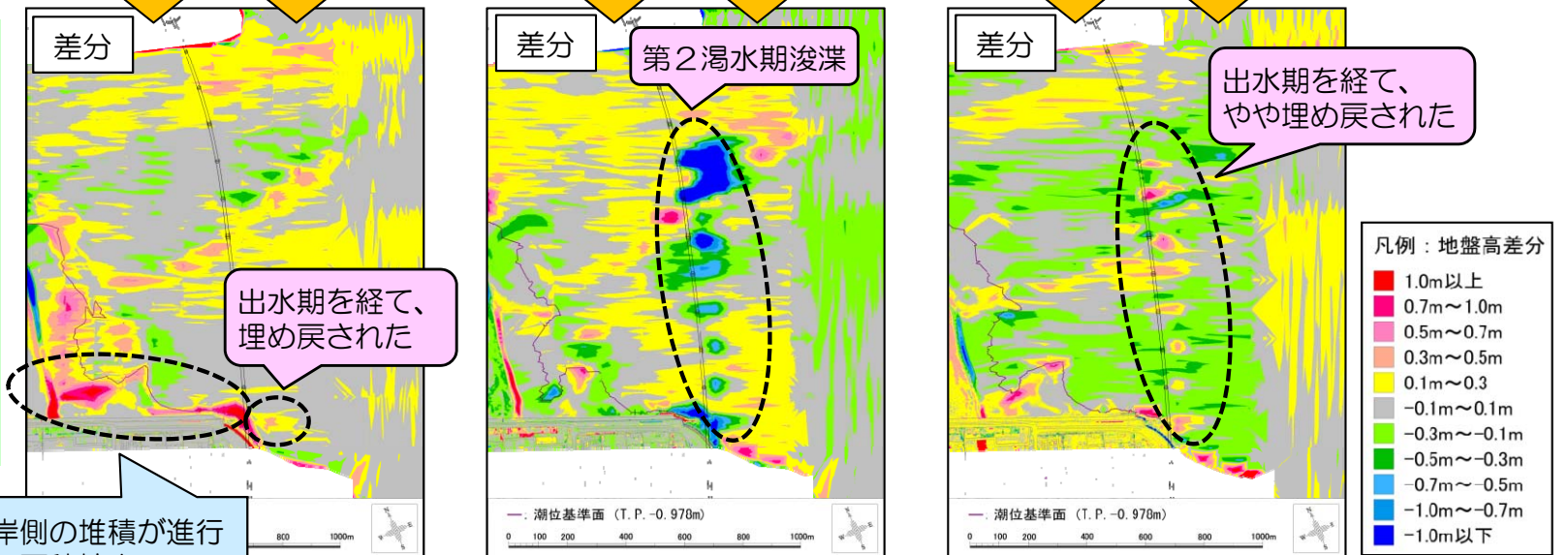


第1 濁水期、第2 濁水期ともに浚渫箇所の埋め戻しが確認された。



河口干潟東部周辺の地形は、短期的な出水と日々の波浪や潮流等によって日々変化し続けている。

そのゆらぎの中で、浚渫した箇所も地形の安定に向かって埋め戻しが生じていると考えられる。

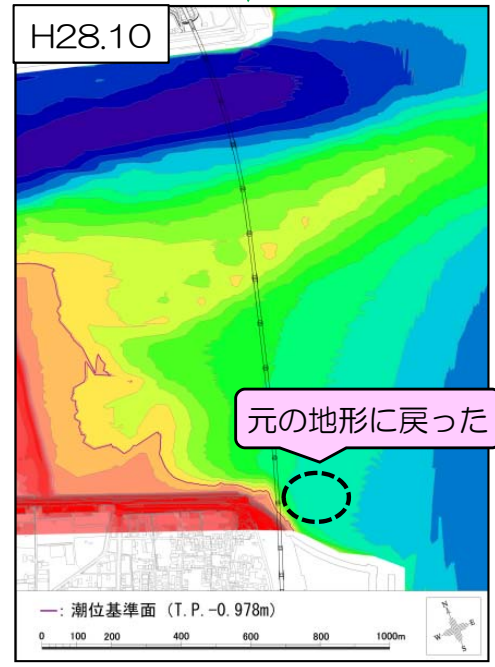
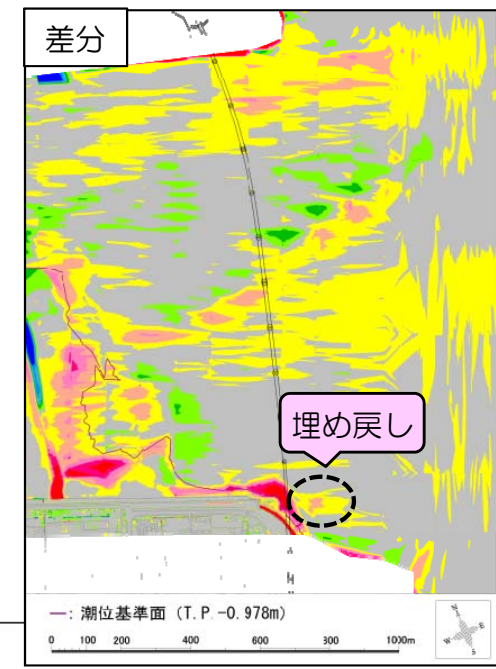
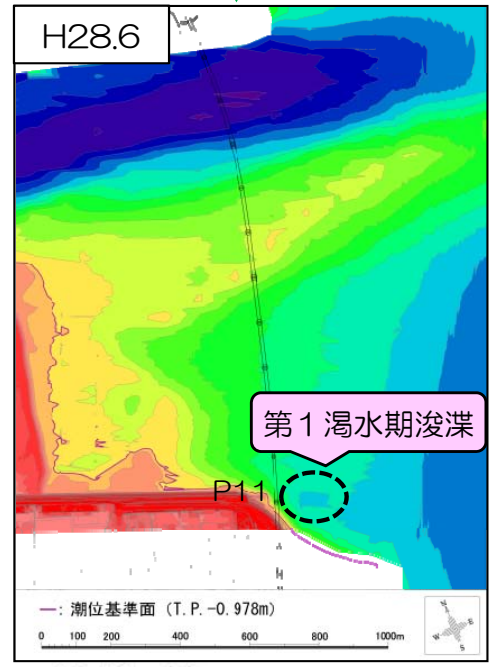
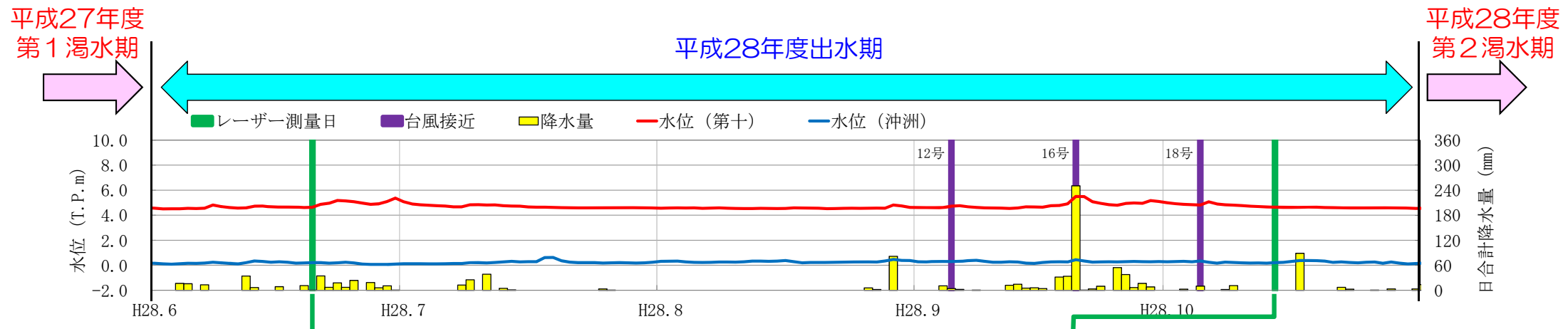


右岸側の堆積が進行して面積拡大



3-3 地形調査(速報)③ ~平成28年度出水期の地形の動き(埋め戻し)~

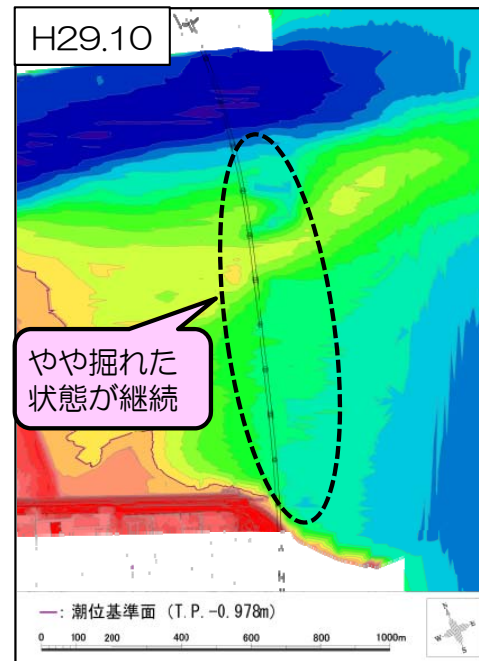
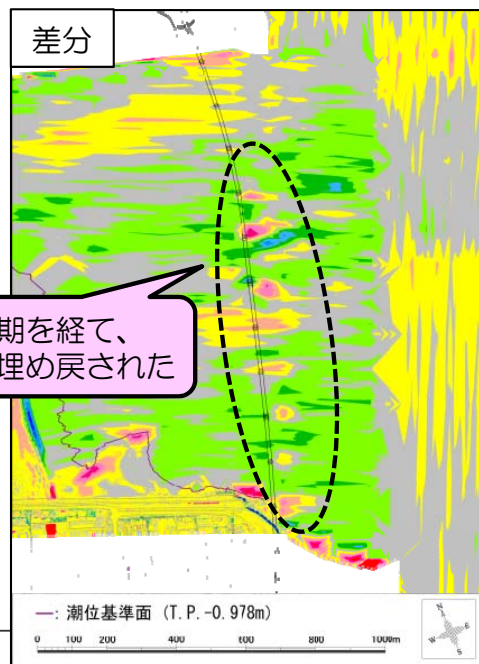
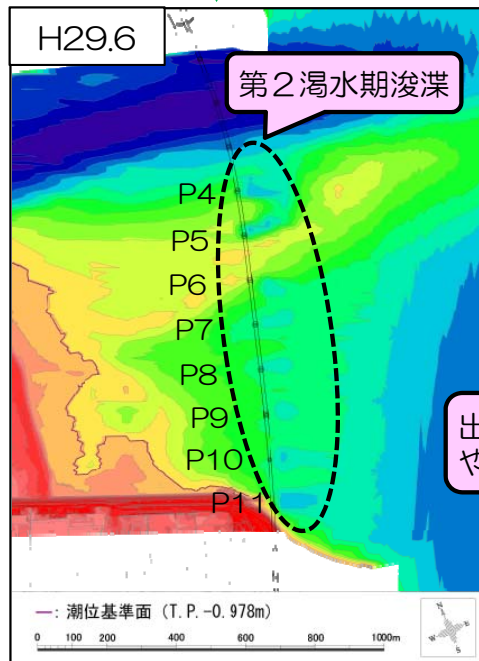
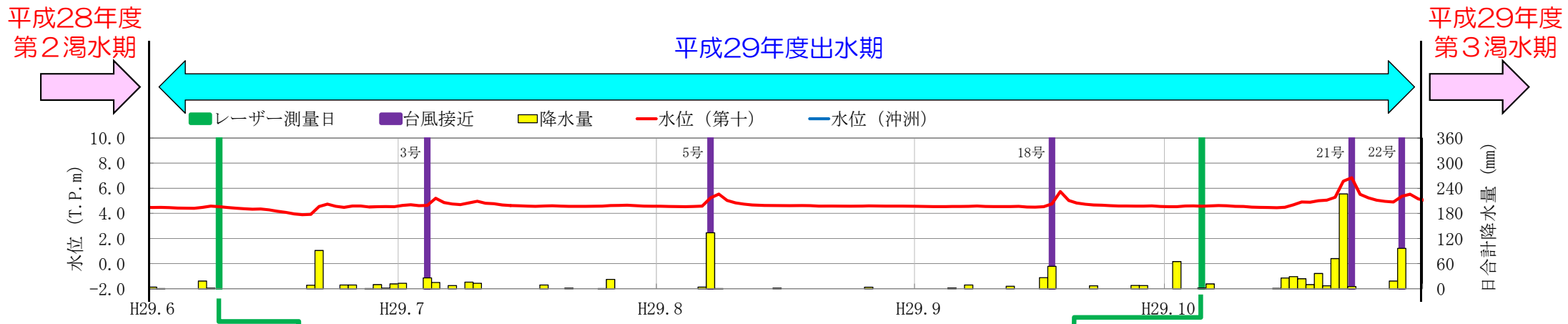
平成28年6月から10月の出水期の地形の動きを示す。



H27年度の第1 濁水期に実施したP11の浚渫箇所は、出水期を経て埋め戻され、元の地形に戻ったことが確認された。

■ 3-4 地形調査(速報)④ ～平成29年度出水期の地形の動き(埋め戻し)～

平成29年6月から10月の出水期の地形の動きを示す。



H28年度の第2濁水期にP4～P11周辺で実施した浚渫は、平成29年10月時点で**やや掘れた状態が継続**しているものの、出水期を経て、**ある程度埋め戻された**ことが確認された。

■3-5 地形調査⑤ ～河口干潟の面積の変化～



河口干潟の面積は、H26.8の大出水の影響を受けて沖合方向に拡大していたが、以降は縮小する傾向にあった。そして、H28.10に再び拡大しており、以降は同程度の面積を維持している。面積が拡大した要因は、平成28年1月頃より**右岸と河口干潟が繋がったこと**に伴い、**その周辺に土砂が更に堆積**されたことが考えられる。

調査日	季節	河口干潟面積：m ²				対前回調査差分：m ²			
		朔望平均満潮位	年平均潮位	朔望平均干潮位	潮位基準面	朔望平均満潮位	年平均潮位	朔望平均干潮位	潮位基準面
H26.8 大規模出水発生									
H26.10.8	秋季	231,761	363,579	629,594	657,684	-	-	-	-
H27.6.1	春季	194,220	365,534	576,322	591,210	-37,541	1,954	-53,272	-66,474
H27.10.14	秋季	237,105	363,307	563,343	571,472	42,885	-2,227	-12,979	-19,738
H28.1頃 河口干潟と右岸が接続									
H28.6.20	春季	218,062	380,120	551,168	561,049	-19,043	16,813	-12,175	-10,423
H28.10.14	秋季	228,123	379,783	595,141	618,627	10,061	-337	43,973	+57,578
H29.6.9	春季	217,814	369,875	594,940	619,494	-10,309	-9,908	-201	+867
H29.10.5	秋季	260,109	399,323	599,246	619,455	+42,295	+29,448	+4,306	-39

沖合方向に面積拡大

右岸部に土砂が堆積して面積が拡大し安定化

3-6 潮下帯生物調査(速報)① ~底生生物の確認状況~



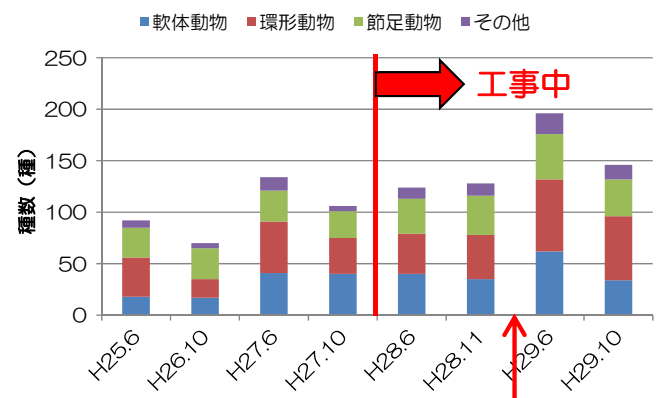
潮下帯定量調査（底生生物）の結果を示す。これまでの調査にて**全331種（重要種は26種）**が確認された。また、平成29年度の調査では6月に196種、10月に146種が確認され、**工事中であっても種数は減少していないことが確認された。**

調査別種数

調査日	軟体動物	環形動物	節足動物	その他	合計
H25.6	18	38	29	7	92
H26.10	17	18	30	5	70
H27.6	41	50	30	13	134
H27.10	40	35	26	5	106
H28.6	40	39	34	11	124
H28.11	35	43	38	12	128
H29.6	62	70	44	20	196
H29.10	34	62	36	14	146
計	107	101	92	31	331

事前調査

工事中調査



重要種リスト

番号	門	和名	重要種選定基準及びカテゴリー					先行事例 確認有無	事前調査				工事中調査			
			環境省	徳島県	干潟RDB	WWF	海洋生物		H25.6	H26.10	H27.6	H27.10	H28.6	H28.11	H29.6	H29.10
1	刺胞動物	ムシトキギンチャク科			DD			○			●		○		●	
2	軟体動物	ウミコノマツホ	NT		NT	危険						○		○		
3		アタムスタカガイ	NT		NT	危険		○					○	○		
4		ツカガイ	NT		NT	希少		○					○	○	○	
5		マクラガイ	NT		NT			○		◎		○	○	○	○	
6		カミシジカイコガイ	VU		VU			○					○	○	○	
7		ヤマホトキスガイ	NT		NT	危険		○		●		○				
8		ヒナノズキン	CR+EN		EN	絶滅		○							○	
9		フジノハナガイ	NT		NT			○	○	●	●	○	○	●	○	
10		キュウシュウナミコ	NT		NT			○		●	●	●	○	○	○	
11		オオモノハナ	NT		NT	危険		○	○	○			○	○	○	
12		モモノハナガイ	NT		NT			○					○	○	○	
13		サクラガイ	NT		NT			○						○	○	
14		オチバガイ	NT	DD	NT	危険		○		●						
15		ムラサキガイ	VU		VU	絶滅寸前		○						○		
16		チュウマテガイ	VU		VU	現状不明		○								
17		アリソガイ	VU		VU	絶滅寸前		○				○			●	
18		オキナガイ				危険		○							●	
19		節足動物	テナカツノヤトカリ			NT		DD	○						●	
20	ヒメムツアシガニ				NT		NT		○				○			
21	トリクミアカイソドモトキ			NT	NT	危険	NT	○					○	○		
22	ヨコナガモトキ				NT		NT	○					○	○		
23	ウレマカガニ				VU	状況不明	VU	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
24	腕足動物	シャミンカガイ属					DD	○						○	○	
25	棘皮動物	オカメアザシク				危険		○								
26	脊索動物	ヒカシナメクシウオ			NT	危険	VU		●		●	○	●	○	○	
10目20科26種			16	2	23	15	7	18	5	8	6	9	7	10	16	10

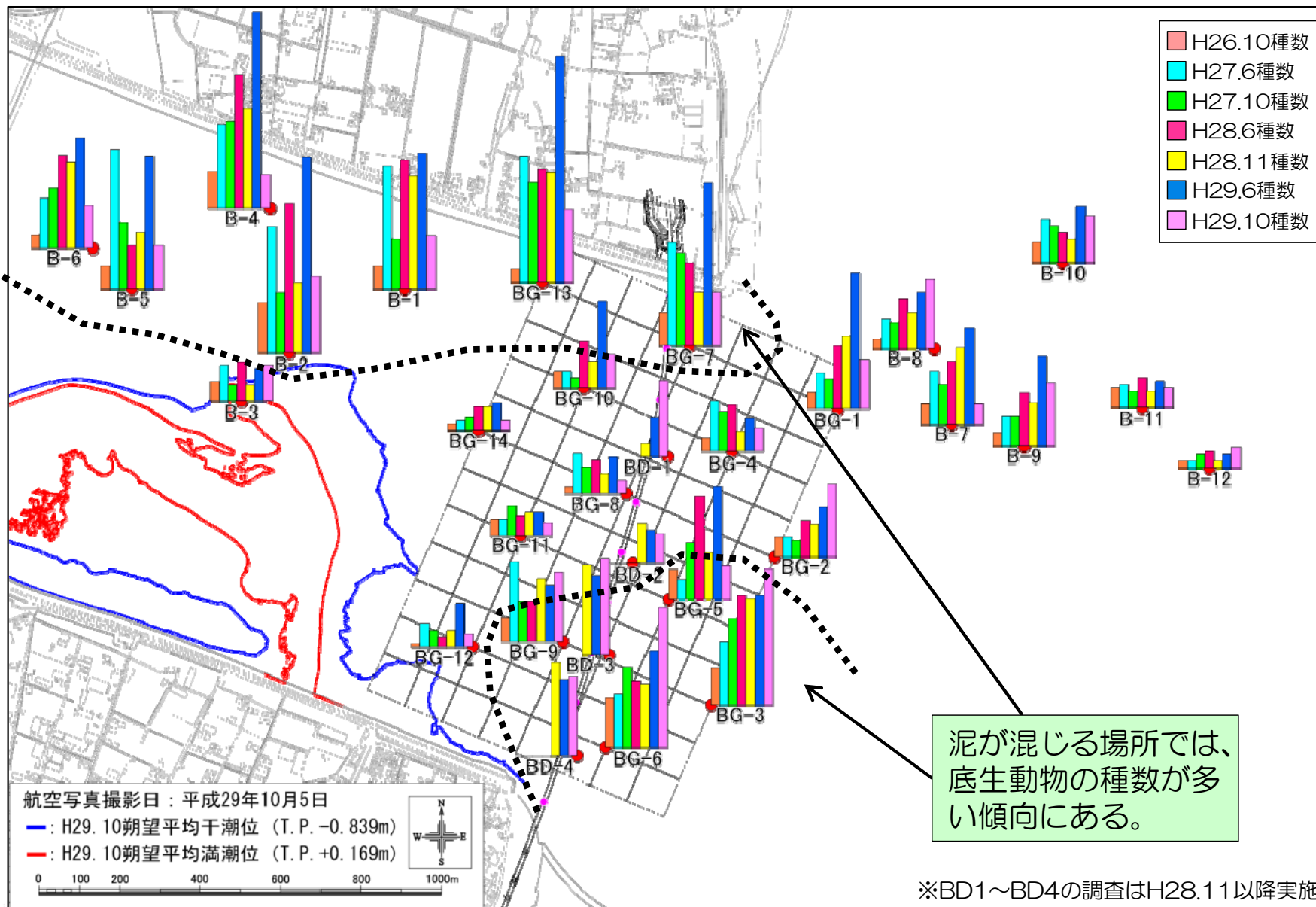
P4~P11の広範囲の浚渫を実施 (H28湯水期)

- ・先行事例は阿波しらさぎ大橋整備事業のことを指す。
- ・表中の「●」は格子上での出現、「○」は格子外での出現、「◎」は格子上・外の両方で出現をそれぞれ示している。
- ・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT）、情報不足（DD）



3-7 潮下帯生物調査(速報)② ~底生生物の確認状況~

種数の分布図



3-8 潮下帯生物調査(速報)③ ~底生生物のバックアップ状況~



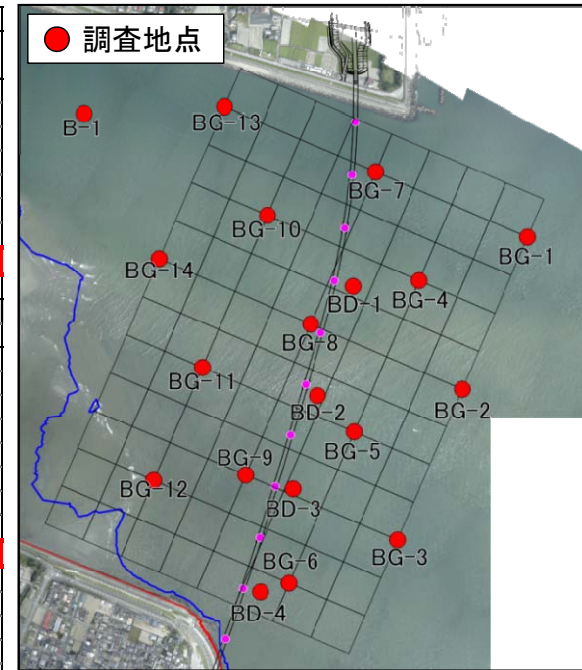
底生生物のバックアップ状況について以下に示す。

- ①事前・工事中調査にて、渡河部周辺の格子上のみで確認された種は29種であり、そのうち種名まで同定された種は12種、重要種は2種であった。
- ②重要種のモモノハナガイとテナガツノヤドカリについては、今後もモニタリングで注視していく。

■格子上のみで確認

H26.8に大出水が発生

番号	門	綱	目	科	和名	学名	事前調査				工事中調査			
							H25.6	H26.10	H27.6	H27.10	H28.6	H28.11	H29.6	H29.10
1	軟体動物	腹足	新生腹足	タマガイ	フクロガイ属	<i>Sinu</i> sp.					2			
2				タケノコガイ	ムササキタケガイ	<i>Pristiterebra taylori</i>							1	
3					タケノコガイ科	Terebridae				1	2	1		
4				コロモガイ	コンコウホウラ	<i>Merica laticosta</i>							1	
5			低位異鰓	オオシイノミガイ	コシノミガイ	<i>Pupa strigosa</i>							1	
6			裸側	-	裸側目	Nudipleura	1			1				
7			真後鰓	ウミコチョウ	ウミコチョウ科	Gastropteridae				1				
8		二枚貝	マルダレガイ	ニッコウガイ	モモノハナガイ	<i>Moerella jedoensis</i>					1			
9			異靱帯	ササナミガイ	ササナミガイ科	Lyonsiidae						1		
-	環形動物	コカイ	サシバコカイ	チロリ	<i>Glycera alba</i>	<i>Glycera alba</i>	3							
10			オトヒメコカイ	オトヒメコカイ	Oxydromus属	<i>Oxydromus</i> sp.							6	
11	節足動物	軟甲	ヨコエビ	カマキリヨコエビ	カマキリヨコエビ属	<i>Jassa</i> sp.					1			
12			ワラシムシ	ウミナナシ	ウミナナシ科	Paranthuridae							1	
13			ハラムシ	ハラムシ	ハラムシ属	<i>Symmia</i> sp.			5	2	1	4		
14			アミ	アミ	ナカサトハマアミ	<i>Acanthomysis nakazatoi</i>		1				10		
15					シキシマアミ	<i>Archaeomysis vulgaris</i>		1				3		
16					イイエラ属	<i>Iiella</i> sp.		3						
17			エビ	クルマエビ	サルエビ属	<i>Trachypenaeus</i> sp.		1						
18				ユメエビ	ユメエビ属	<i>Lucifer</i> sp.							1	
19			ヤドカリ	テナガツノヤドカリ	<i>Diogenes nitidimanus</i>	<i>Diogenes nitidimanus</i>	1					1		
20			キンセンカニ	キンセンカニ	キンセンカニ科	Matutidae							1	
-			イチョウカニ	イチョウカニ	イチョウカニ属	<i>Cancer</i> sp.		1						
21			コブシカニ	ヘトリコブシカニ	ヘトリコブシカニ	<i>Philyra heterograna</i>					4			
22			シヤコ	ヒメシヤコ	ヒメシヤコ	<i>Acanthosquilla multifasciata</i>							1	
23					ヒメシヤコ科	Nannosquillidae					1			
24			シヤコ	シヤコ	シヤコ	<i>Oratosquilla oratoria</i>					3			
25					シヤコ目	Stomatopoda							1	
26	棘皮動物	ヒトデ	-	-	ヒトデ綱	Asteroidea						2		
-			ナマコ	-	ナマコ綱	Holothuroidea	3							
27			ウニ	-	ウニ綱	Echinoidea		1						
28	脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	イトヒキハセ	<i>Cryptocentrus filifer</i>			1					
29			硬骨魚	カレイ	ササウシノタ	<i>Heteromvcteris japonica</i>							1	
15目26科29種							5	1	4	1	3	8	8	11



- H25.6 (予備調査) 計画線上に11地点を調査
- H26.10~H28.6 河口周辺部で26地点を調査 (格子内14地点、格子外12地点)
- H28.11~ 河口周辺部で30地点を調査 (浚渫箇所BD-1~4を追加)

※表中の黄色の着色部は種名まで同定された種、赤字は重要種を示している。
 ※表中の数値は、個体数を示している。
 ※予備調査で確認された種は、同時期に格子外を調査していないため、参考を示している。

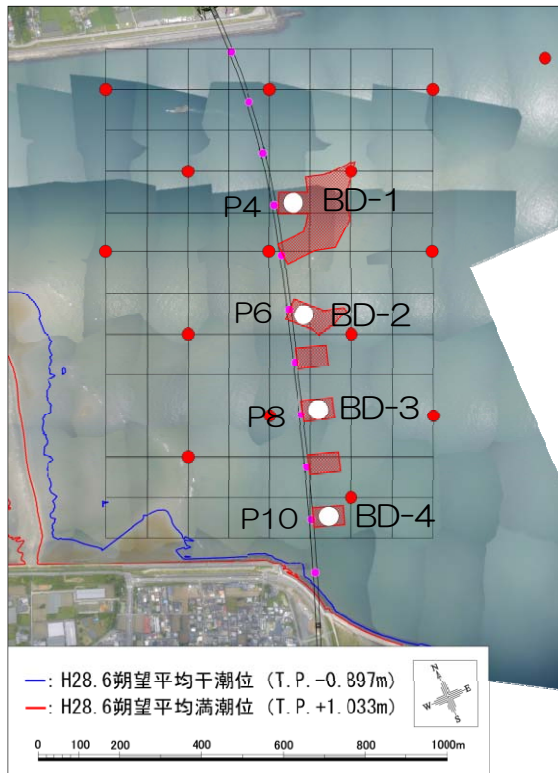


3-9 潮下帯生物調査(速報)④ ～浚渫した箇所の底生生物の確認状況～



浚渫箇所での底生生物の確認状況について、これまでの調査にて**全100種（重要種は5種）**が確認された。また、浚渫によって**底生生物の種数は減少していない**ことが確認された。浚渫箇所のみには生息が確認されたモモノハナガイを含め、今後もモニタリング調査で注視していく。

■調査地点

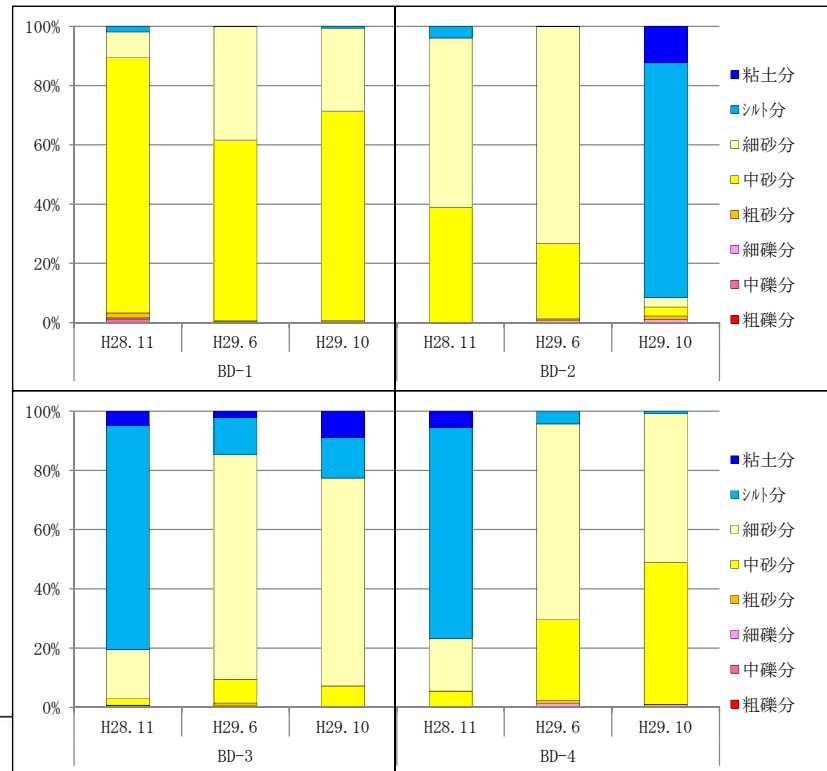


※赤色のハッチングは平成28年6月の地形調査に基づいた想定浚渫範囲

■地点BD-1～BD-4の生物の確認状況

門	BD-1			BD-2			BD-3			BD-4		
	H28.11	H29.6	H29.10	H28.11	H29.6	H29.10	H28.11	H29.6	H29.10	H28.11	H29.6	H29.10
軟体動物	0	1	6	3	0	1	7	5	10	5	4	9
環形動物	1	4	14	2	2	8	16	7	13	15	9	11
節足動物	2	5	2	6	7	0	4	10	5	5	8	3
その他	1	2	1	1	1	0	0	2	1	3	2	1
計	4	12	23	12	10	9	27	24	29	28	23	24
重要種			マクラガイ				オオモノハナ モノハナガイ	オオモノハナ			オオモノハナ ウモレマメガイ	マクラガイ サクラガイ

■地点BD-1～BD-4の底質経年変化グラフ



- H28.11: 第2渇水期 **浚渫前**
↓ ※渇水期
- H29.6: 第2渇水期 **工事後**
↓ ※出水期
- H29.10: 第3渇水期 **浚渫前**

地点BD-1～BD-4は、H28.11調査から追加された調査地点であるため、H28.11、H29.6、H29.10の調査結果を示している。

